

旭岡



令和5年度 旭岡中学校 学校だより NO.8

函館市西旭岡町3丁目5番地
TEL 50-3609 FAX 50-4412



【重点目標】『自ら考え、判断し、表現できる生徒の育成』

HP <https://member-asahioka-jh.edumap.jp>

ノーマライゼーションって何だろう？

～人として当たり前前に生活できる社会を目指そう～



校長 中田 和子

10月～11月にかけて、1年生が「総合的な学習の時間」の授業でノーマリー体験学習を実施しています。今年度は函館市社会福祉協議会のノーマリー教室に申込みをして、「高齢者疑似体験」・「盲導犬」・「介護ロボット体験」の3つについて学びます。学校HPでも紹介していますが、既に2回の体験を終えて11月9日に「介護ロボット体験」を残すのみとなっています。

この学習の目的の一つに「福祉体験や講話を通し、福祉の現状など広い知見とノーマライゼーションの意識を高める」ことがあります。皆さんも一度くらいは「ノーマライゼーション」という言葉を聞いたことがあるのではないのでしょうか？何となくわかるような気はするけれど、改めて意味を聞かれると「はて？何だっけ？」と説明に窮するので、自分でも少し調べてみました。

normalization とは

直訳すると『正常化』『標準化』という意味で、「それまで特別だったことを当たり前にしていく」という考え方です。ノーマライゼーションの理念を具体的に推進する考え方として、バリアフリーやユニバーサルデザインという言葉があり、どこかで聞いたことがある人もいると思います。

ノーマライゼーション	皆が同じ条件下で日常生活を送れるようにするという理念
バリアフリー	多様な人が社会で生活しやすくなるよう障壁をなくすこと 例：段差をなくす、スロープをつける、点字ブロック、手話通訳、盲導犬可の店など
ユニバーサルデザイン	皆が利用しやすいデザイン 例：自動ドア、多機能トイレ、シャンプー容器の突起、センサー式蛇口、ピクトグラムなど

これからは、バリアを取り除くよりも、できるだけ初めからバリアのないデザインを考えるユニバーサルデザインが、より求められています。



ノーマライゼーションは1950年代にデンマークの社会省行政官ミケルセンが提唱し、1960年代に北欧諸国を中心に広まりました。

1980年代になって日本でもその理念が取り上げられるようになりますが、日本のノーマライゼーション政策は欧米諸国と比べてあまり進んでいないのが現状です。そのことを実感した私の体験を以下に紹介します。



今から20年以上前、研修でオーストラリアに4週間ほど滞在した時のこと。一緒に派遣されたメンバー数名と街の中心部にある広場でお茶を飲んでいました。そこはテーブルと椅子がたくさん並べられ、多くの人で賑わっていました。ふと見ると、電動車椅子の青年が広場を横切ろうとしています。混み合うテーブルをよけながら少しずつ進んでいく先に、男女の若者のグループがいました。私たちは一瞬息をのみました。彼らは日本人の私たちから見ると、お世辞にも真面目そうには見えず—髪を赤や紫に染め、たくさんのピアスやアクセサリ、ロックミュージシャンのステージ衣装のような派手な服装—、とても怖そうに見えたのです。どうやら青年は彼らの横を通り抜けようとしているらしいのですが、そんな隙間はありません。どうなることかとハラハラしながら見守っていると、次の瞬間、若者たちはすっと席を立ち、自分たちの椅子とテーブルを動かして、あっという間に電動車椅子の青年が通るスペースを作りました。そして何事もなかったように元に戻し、おしゃべりを続けたのです。青年の方も、一言二言お礼を言って当たり前のように通り過ぎていきました。



その時、「ああ、この国ではこれがごく普通の日常風景なのか。」と衝撃を受けたことを覚えています。このような日常風景は一朝一夕で生まれるものではありません。学校、家庭、地域が折りにふれて様々な形で話題にしたり、学習したりすることで、若い世代を含めた人々がノーマライゼーションの考え方を理解し実践する社会を作っていくのだと思います。(何事も教育の役割は大切です)



私たちは皆等しく年齢を重ね、やがて高齢者となります。ある日突然、事故や病気で障害をもつかも知れません。いつの時代でも、誰もが自分らしく安心して暮らせる社会であるために、一人一人が自分や自分の家族、周りの人の問題として捉えることが重要です。本校で取り組んでいるノーマリー体験学習を通して、生徒たちは多様性や福祉についてたくさんのことを学んでいます。これからの日常の中で、この学びが考え方や行動の変化につながることを期待しています。

生徒会新体制スタート

10月6日(金) 生徒会役員選挙立会演説会および投票が行われ、新総務が選出されました。演説会では、どの立候補者も、大きな声で堂々と意気込みを語っていました。内容は旭岡中学校がこれからもっと良くなるだろうなあと思わせるものばかりでした。また、投票は市役所から本物の投票箱をお借りして行いました。みんな真剣に投票していました。

新生徒会総務

- ・会長 : 坂本 春輝さん
- ・副会長 : 關 陽菜さん
- ・書記長 : 中村 徹心さん
- ・書記次長 : 吉川 美波さん



1年ノーマリー学習

1年生の総合的な学習の時間の2つめのテーマが「ノーマリー教室」です。10月3日に、第1弾として「高齢者疑似体験」を行いました。体におもりや、動きづらくなるサポーター、視野の狭くなるゴーグル、聞きづらくなるヘッドフォンをつけて、友達にサポートされながら、校内を歩いたりしました。お年寄りの気持ちを理解するとともに、サポートの仕方も学ぶことができました。

12日には第2弾「盲導犬体験」です。函館市内で実際に盲導犬を利用している方を講師に、目が見えないということや、ヘルプマークなどについて学んだ後、盲導犬の「ピッピ」とふれあうことができました。今回学んだことを生かし、日常生活で困っている人の手助けなどができるといいですね。



避難訓練 (地震)

2日(月)に地震の避難訓練を実施しました。避難する前に各学級で実際に起きた地震災害の様子をビデオで見ながら避難の訓練を行いました。また、実際の災害では建物やガラスなどが散乱した場所を通らなくてはならないことも想定されるため、障害物を置いた場所を通りました。

訓練終了後、教頭からJアラートが鳴ったときの行動について確認しました。学校で行う訓練は、時数の関係で全ての災害に関しては行うことができません。しかし、どんな災害がいつ起こるかわからないという昨年度の反省を受け、今年度から避難訓練終了後に、各種災害の避難行動の確認をすることにしました。



行事予定

- 11 / 2(木) 校内研修会
- / 3(金) 文化の日
- / 6(月) 職員会議
- / 7(火) 3年願書写真撮影
- / 8(水) 3年生実力テスト総合C
- / 9(木) 1年ノーマリー教室③
- / 10(金) ALT 来校
- / 12(日) 小中連携日曜参観日 (弁当持参)
3年進路説明会
- / 13(月) 振替休業日
- / 14(火) 校内研究会 (3年道徳)
- / 17(金) テスト前部活動休止 ALT 来校
- / 18(土) テスト前部活動休止
新人バドミントン大会
- / 19(日) テスト前部活動休止
新人バドミントン大会
- / 21(火) 定期テスト SC 来校
- / 22(水) 一斉専門委員会
- / 23(木) 勤労感謝の日
- / 27(月) 2年和太鼓授業 (アウトリーチ事業)
- / 28(火) SC 来校
- / 29(水) 全校集会

